

2004年6月28日

各 位

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社

**格付投資情報センター（R&I）による
当社連結子会社「双日」格付けレーティング・モニター指定の件**

本日、株式会社格付投資情報センター（R&I）は、当社連結子会社である双日株式会社の長期優先債務格付け「ダブルB マイナス（BB-）」およびコマーシャル・ペーパー格付け「a-3」を格下げ方向で「レーティング・モニター」に指定することを発表しました。

R&Iのニュースリリースによると、“UFJ銀行の大口与信先向けへの対応が双日の財務運営、経営再建にどのような影響があるか、また同社が厳しい事業環境の中で市場や銀行団の信頼を維持していけるかを精査した上で、新たな格付けを発表する”としていますが、現状、当社グループはUFJ銀行をはじめとする主要金融機関やグローバルな商社活動における多くのお取引先とは、従前と変わらぬ取引関係を継続して頂いております。また、当社は、株主をはじめとするステークホルダーに対して経営責任と説明責任を果たすべく透明性の高い経営体制確立に向けて努力しております。

従いまして、R&Iが本日発表したレーティング・モニター指定理由並びに指定時期について、当社グループとしては納得できるものではありません。

既にご報告しておりますとおり、当社は6月25日に開催した第一回定時株主総会にて事業計画の進捗を説明し、株主よりの信頼を得ておりますが、当社グループは、引き続き取引先、株主、金融機関の皆様のご協力を頂戴しつつ、事業計画を着実に実行していく所存です。

また、市場とのコミュニケーション・ギャップが生じぬよう、当社は公正で信頼できる情報を自発的かつ適時に開示する姿勢を堅持してまいります。

以 上